

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年5月2日更新

事務事業名				消防連絡協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	総務部	課長名	田代 純児			
	施策	15	防災対策の推進	所属課	安全安心課	担当者名	宮尾 和樹			
	施策の柱	48	災害予防対策	所属班	防災対策班	(内線)	1242			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠				
	一般	9	1	2	10012	法令				
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/>	5年度で終了	<input type="checkbox"/>	5年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 ～ 年度)	16	年度)
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・平成16年度に消防組合と菊池広域の消防署が合併し、菊池広域連合消防組合が発足したのに併せ組織され、4市町（菊池市・合志市・菊陽町・大津町）で構成している。構成市町の消防団長、副団長、消防主任及び消防本部幹部職員で組織され、各市町間の連絡調整及び研修等を行う。
【業務の流れ】	・協議会への参加 研修会への参加 団長、副団長への連絡、調整
【主な予算費目】	・旅費（費用弁償、普通旅費）
【意見や要望】	・特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和6年度から10022消防団活動支援事業に統合することによる廃止
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 構成市町の消防団長、副団長、消防主任及び消防本部幹部職員で組織され、各市町間の連絡調整及び研修等への参加を行なった。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア協議会開催回数 イ研修会開催回数	(単位) 回 回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・消防団幹部(団長及び副団長)	(単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・協議会に参加することによって、他市町との交流(情報交換等)を深める	(単位) %
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 ・協議会に参加することによって、他市町との交流(情報交換等)を深めることができるため。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア回 イ回		回	3 0	3 2	3 2	0 0				
② 対象指標	ア人 イ人		人	5	5	5	0				
③ 成果指標	ア% イ%		%	50	100	100	0				
投 入 量	事 業 財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	345	400	305				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0				
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	1 100	0 50	3 50	1 50				
		(B)人件費計	千円	391	0	199	182				
		トータルコスト(A)+(B)	千円	391	345	599	487				

事務事業名	消防連絡協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】 協議会に参画することで、他市町、消防本部との交流ができ情報を共有化を図る見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】 この協議会に参画することで他市町との交流・意見交換などを起こすことができるものであるが、コロナ禍においても連携維持ができる手段を検討していくものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 協議会、研修会への旅費のみの予算であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 協議会、研修会への参加とその調整に関する事務のみで、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】 対象は、消防団団長、副団長であるが、団長、副団長が得た知識、情報等は全消防団員に周知し、情報の共有化を図り、地域の防災活動に役立てるので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】 常備消防と非常備消防との連携を図るものであり適正である。

3 評価結果の総括 (C H E C K)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会議の中止および文書決議に変更を実施。研修は中止となった。
・例年よりもメールや電話等での連携を強化しているが、協議会員同士の連携に課題が残った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善
事業のやり方改善（効率性改善 事業のやり方改善（公平性改善
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	向上	コスト		
		削減	維持	増加
維持				
低下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策